

県中農林 ニュース

ひとつ、ひとつ、実現するふくしま

第42号

令和8年3月26日

- 特集 P1～2
- 農林関係の動き P3～16
- 頑張る農林業者さん P17
- GAP 取得者紹介 P17
- お知らせ P18～20

お問い合わせはこちら

【編集・発行】

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

特集

令和7年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、

「堀越集落」が農林水産大臣賞を受賞されました

【企画部】

豊かなむらづくり全国表彰事業は、農山漁村における「むらづくり」の優良事例の表彰を行うことにより、むらづくりの全国的な展開を助長するとともに、地域の連帯感の醸成及びコミュニティ機能の強化を図り、農林漁業及び農山漁村の健全な発展に資することを目的に、農林水産祭表彰行事の一部門（むらづくり部門）として昭和54年度から実施しています。

表彰式が11月11日（火）宮城県仙台市青葉区の仙台合同庁舎A棟8階講堂で行われ、福島県代表として推薦された田村市の「堀越集落」が、農林水産大臣賞を受賞しました。

田村市船引町の南に位置する「堀越集落」は、長年、集落営農に取り組んでこられました。平成29年に組織を再編し、非農家を含めた集落全戸からなる「一般社団法人ほりこし創生会」と担い手となる法人「株式会社ほりこしフォーライフ」による法人2階建て方式の集落営農をスタートしました。その後、農村環境の整備や農地の利用調整、法人への農地集積などに取り組まれ、集落の活性化に貢献してきました。

今回の受賞を機に、各団体の今後ますますの御活躍が期待されます。



(前列中央：堀越集落代表(左)佐藤正典^{まさのり}氏、
(右)佐藤松美^{まつみ}氏)

【表彰式の様子】

県では「豊かなむらづくり顕彰事業」として、集落等におけるむらづくり活動や農業生産活動に顕著な業績を収めている団体等を表彰しています。

第44回目となる今回は、令和8年2月3日（火）に福島市の杉妻会館において表彰式が行われ、むらづくり部門3団体、農業生産部門1団体が表彰されました。管内からは、むらづくり部門で三春町の「ファームパークいわえ運営委員会」が受賞しました。

「ファームパークいわえ運営委員会」は平成19年2月より、地区内の課題解決と耕作放棄地解消や農地保全を目的とした景観作物の植栽や田んぼアート制作、貸農園などの事業構想を考案し、地区の合意形成を熱心に行うことで、地元からの賛同を得たので、その後町に相談・支援を受け、平成21年度に福島県地域づくり総合支援事業などを活用して、地区の山林や農地を借用し、農道の舗装や、東屋、広場などをの整備や田んぼアートの造成工事を行い、耕作放棄地の解消と地域住民の憩いの場の「ファームパークいわえ」（約3ha）を整備しました。

区長経験者を代表とする「ファームパークいわえ運営委員会」を組織し、地域の各団体との連携のもとに、運営を担っており、地域住民の協力を得て、毎年度、田んぼアートや花菖蒲などの植栽による景観整備、花と地域の伝統芸能などを組み合わせたイベントの開催などに取り組んでいます。

農業体験を通じて農業への関心を高め、地域活性化と観光の機会を創出するため、三春町の郷土玩具である「三春駒」や三春町の歴史にゆかりのある「伊達政宗^{だてまさむね}」やその正室の「愛姫^{めぐひめ}」などを色鮮やかな田んぼアートで毎年デザインを変えて表現しています。

また、「2023全国田んぼアートサミット in いなかだて」に参加して、県内外の他の田んぼアート主催団体との情報交換や交流につなげています。

今回の受賞を機に、今後ますますの御活躍が期待されます。



(左から影山孝男^{かげやまたかお}運営委員長、知事、
福島民友新聞社社長、江嶋孝男^{えしまたかお}行政代表)

【表彰式の様子】

10月23日（木）、郡山市森林組合の合併六十周年記念式典が盛大に執り行われました。

1965年（昭和40年）に市内の9組合が合併し「郡山市森林組合」が発足しました。以来60年にわたり「ふるさとの森林は森林組合が守る」をスローガンとして、森林の整備や管理、林業経営の指導、用材の生産、森林病虫害の防除など、多岐にわたる林業振興と森林環境保全に取り組み、県中地域の林業の中核的な存在として林業、木材産業をけん引してきました。

地域の林業の未来に向け、当組合の更なる活躍と発展を祈念いたします。



ふじさわいさお
【藤澤功夫代表理事組合長挨拶】



【記念式典の様子】

県中地方特定家畜伝染病埋却・机上演習を開催しました

【農業振興普及部】

こうびょうげんせいとり
高病原性鳥インフルエンザは、2004年に国内で確認されて以降、渡り鳥が日本へ渡る秋から帰路につく春までの間に全国で発生が確認されています。このため、こうびょうげんせいとり高病原性鳥インフルエンザが発生した際、迅速かつ的確な感染拡大防止ができるよう、10月24日（金）に実際に重機を用いた埋却演習、12月3日（水）に三春合同庁舎を会場として机上演習を開催しました。埋却演習には、県建設業協会等の関係機関において現場で実際に作業に従事する職員25名、机上演習には39名が参加し、一連の流れを実際に体験し有事の際の防疫対策を確認しました。今回の演習をふまえ、緊急時に迅速に防疫対策を講じられるよう体制を強化してまいります。



【重機による掘削作業】



【隣接テントで防護服の着衣】

10月31日（金）に岩瀬農業高等学校環境工学科1年生19名を対象として「ふくしまの農村学びの場」事業による工事現場等の見学会を実施しました。

県営ほ場整備工事（三穂田北部地区）、深田調整池、川屋ため池について、当所担当職員が工事概要、施設機能や役割等を説明しました。

三穂田北部地区では、工事を施工する建設会社の協力により、実際に工事で使用する測量器具やドローンを操作体験でき、生徒たちは興味津々でした。「農業に関わる工事現場の作業を実際に体験できて、とても貴重な機会となった。」と土地改良事業への理解を深めたようでした。



【県営ほ場整備工事現場を体験する様子】



【ため池工事の説明を受ける様子】

「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを開催しました 【企画部】

県産農林水産物の消費拡大及び地産地消を推進するため、「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを実施しました。

第3回は、11月8日（土）に田村市新そばまつり会場内にてアンケートに回答いただいた先着300名の方に田村市産さつまいも「栗かぐら」の配布と、田村市産の農産物を使用した「濃縮さつまいも甘酒」と「パッションフルーツキューブゼリー」の試食をプレゼントしました。

アンケートの結果、福島県産の農林水産物の購入頻度は週1回以上購入している割合が76%と高く、県産農林水産物のイメージについても、おいしい217件、新鮮150件と、県産農産物を肯定に捉えていることが分かりました。



【配布した田村市産「栗かぐら」】



【第3回 会場の様子】

第8回ふくしま植樹祭が開催されました

【森林林業部】

11月9日（日）に、ふくしま植樹祭実行委員会（大会会長：内堀知事）と小野町により、第8回ふくしま植樹祭と小野町70周年記念植樹祭が小野公園で共同開催されました。ふくしま植樹祭は、2018年に本県で開催された第69回全国植樹祭の開催理念を引き継ぎ、「未来へつなぐ希望の森林づくり」をコンセプトに、県内各地で毎年開催されているものです。

町内外から約300名が参加し、ヤエザクラやイロハモミジなどの苗木を植樹しました。苗木がこれから大きくなり、多くの人が森林や木との触れ合いを楽しむことを期待します。



【一般参加者による植樹の様子】



【2017ミス日本みどりの女神・野中葵^{のなかあおい}さん（須賀川市出身）と記念植樹をする小野小学校緑の少年団員】

田村市のほ場整備地区で権利者会議が開催されました

【農村整備部】

田村市の農山村地域復興基盤総合整備事業で実施しているほ場整備地区において、工事が完了し、整備されたほ場に対する換地計画^{かんち}の決定を諮る権利者会議（※）を、11月10日（月）ににしむき^{にしむき}西向地区、11月20日（木）に地見城^{じけんじょう}地区、12月19日（金）に永谷^{ながや}地区、1月29日（木）に山口^{やまぐち}地区において開催し可決されました。

今後も複数地区にて権利者会議を予定していますので、引き続きほ場整備事業の推進に権利者の皆さんと一丸となって取り組んでまいります。



【権利者会議の様子】

※権利者会議とは、ほ場整備事業において、地区の権利者が集まり換地計画の決定を行う会議のこと。

福島県「うまい米」決定戦が開催されました

【須賀川農業普及所】

11月16日（日）、須賀川市民交流センターtetteで福島県「うまい米」決定戦が開催されました。

この「うまい米」決定戦は令和8年から3年連続福島県内で開催される「お米のおいしさ」を競う国内最大のコンクールのプレ大会です。今回は福島県内から279検体の出品があり、須賀川市1点、鏡石町2点、天栄村4点が金賞に選ばれました。大会では、トークショーや農産品などの販売コーナーが設けられ、今年12月の須賀川市開催に向けて大いに盛り上がりました。



【金賞を受賞されたみなさん】

令和7年度食品表示法研修会を開催しました

【企画部】

11月18日（火）、福島県農業総合センターにおいて、食品表示法研修会を開催しました。

農産物の加工グループや直売所関係者、直販を行う農業者の方などを対象に、食品表示について理解を深めていただくことを目的として毎年開催しているもので、名称・原材料名・原産地表示等の「品質事項」について県中農林事務所の^{たてかわ}館川主事から、アレルギー・賞味期限等の「衛生事項」について県中保健福祉事務所の^{いがらし}五十嵐副主査から、栄養成分表示等の「保健事項」について県中保健福祉事務所の^{さくま}佐久間副主任栄養技師から説明しました。

受講者の皆様が加工・販売を行うにあたっての一助となりますことを期待いたします。



【研修会の様子】

ふくしま農業人フェア 2025 in こおりやまを開催しました 【農業振興普及部】

「ふくしま農業人フェア」は、多様な農業の担い手を確保するために県が開催している県内最大級の就農相談会です。令和7年度は会津若松市、福島市、郡山市、いわき市の4か所で開催しました。郡山市では11月24日（月・祝）にビッグパレットふくしまで実施し、雇用を希望する農業者や法人、市町村、研修機関等がブースを構えました。当日は就農希望者や農業に興味のある方141名が来場し、各ブースで熱心に相談されました。また農業機械の展示やキュウリ栽培のVR体験コーナーもあり、とても賑わったイベントとなりました。



【県中農林事務所ブースでの相談の様子】

工事安全パトロールを実施しました

【総務部】

11月28日（金）、田村市の山口地区^{やまぐち}、飯豊上地区^{いいとよかみ}のほ場整備工事現場、町畑地区^{まちばた}の治山施設工事現場及び須賀川市の川屋池地区^{かわやいけ}のため池整備工事現場において、今年度1回目の「管内工事安全パトロール」を実施しました。

郡山労働基準監督署、発注者の県中農林事務所及び参加建設業者計33名が参加し、施工業者から工事概要の説明を受けた後、現場の安全管理について各自点検を行いました。

点検後の検討会では、参加者全員で良好点と改善点について確認し合い、今後の安全管理に活かすとともに、年度末に向けて労働災害防止に一層努めていくこととしました。



【現場パトロール状況（川屋池地区）】



【点検後の検討会の様子】

令和7年度県中地方園芸振興セミナーを開催しました

【農業振興普及部】

11月28日（金）、県中地方園芸振興セミナーを開催し、県中地方の園芸品目栽培者や関係機関・団体を併せて73名が参加しました。殺虫・殺菌剤と展着剤に登録のある気門封鎖剤を製造販売している日本化薬株式会社アグロ事業部の担当者を講師に迎え、「気門封鎖剤を活用した病害虫防除について」と題して講演をいただきました。

園芸品目では、近年春先からの気温上昇により、特に害虫の被害が増えています。来作へ向けた効果的な害虫対策のポイントについて、参加者は熱心に聴講していました。農業振興普及部では今後とも、産地の課題解決に資する情報提供を通じて、県中地方の園芸振興を図ってまいります。



【県中地方園芸振興セミナーの様子】

須賀川農業普及所を移転しました

【須賀川農業普及所】

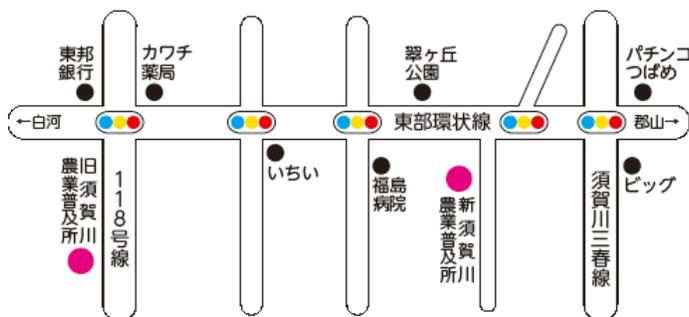
令和3年10月より旧須賀川市産業会館を仮庁舎としていましたが、令和7年11月に下記の場所へと移転しました。新しい庁舎には研修室や経営相談室、診断室等も備えています。

営農相談等がありましたら、お気軽にお立ち寄りください。

新住所：〒962-0868

須賀川市芦田塚203-17

※電話・FAX番号は変わりません。



【須賀川農業普及所外観】

令和7年度経営管理能力向上研修を開催しました

【田村農業普及所】

毎年、田村農業普及所では、田村地域就農支援プロジェクトと共催で経営管理能力向上研修を開催しています。今年度は11～12月の計5日間で「複式農業簿記の基礎」、「パソコン農業簿記の基礎」、「法人化の基礎と実践」の3講座を開催しました。

就農研修生、新規就農者、認定農業者、集落営農組合の代表者等計36名が参加され、パソコン農業簿記の開始や集落営農組織の法人化を進めていく等、今後の経営の向上と発展が期待されます。地域を代表する法人から事例を紹介いただき、出席者は刺激を受けていました。



【講座3「法人化の基礎と実践」の様子】

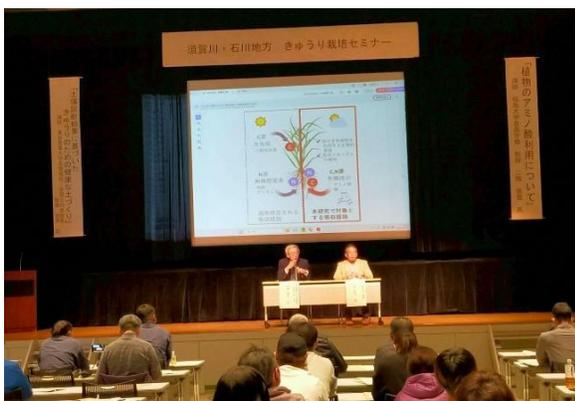
収量アップを目指して！「須賀川・石川地方きゅうり栽培セミナー」が開催されました

【須賀川農業普及所】

12月2日（火）、須賀川市文化センターで須賀川農業普及所管内のきゅうり生産者等を対象にセミナーを開催し、生産者や関係機関など90名が参加しました。

東京農業大学名誉教授・全国土の会会長・^{ごとういつお}後藤逸男先生に「土壌診断に基づいたきゅうりのための健康な土づくり」を、福島大学教授の^{にへいなおと}二瓶直登先生に「植物のアミノ酸利用について」を御講演いただきました。

参加した生産者からは「土壌に合った肥料を自分で選択し土づくりを行えることを知ることができた」など大変好評でした。須賀川農業普及所では今後も土壌診断に基づいた施肥設計の支援を行っていきます。



【後藤先生と二瓶先生による質疑応答の様子】



【ロビーでの資料展示の様子】

鳥獣被害対策モデル地区実績検討会を開催しました

【田村農業普及所】

12月4日(金)、モデル地区である小野町^{おのあかぬま}小野赤沼地区の中心的水稲生産者8名と、今年度の活動を振り返りました。

地区実証ほ場では、6月に実施した電気柵設置勉強会の内容を踏まえて、担当生産者さんに適切に電気柵を管理いただけたことで、イノシシ侵入はありませんでした。

また、実証ほ場周辺に電気柵の設置が広がり、設置された水田ではイノシシの侵入が大きく減少しました。イノシシ被害による^{たねば}種子場水田の失格をゼロに抑えました。

一方で、除草作業の遅れにより、一部ほ場で電圧の低下やイノシシの侵入がみられたことから、次年度は電気柵の点検、適期の除草を課題として活動を行う計画です。



【実績検討会の様子】

県産材製材品の表面線量調査を実施しました

【森林林業部】

12月5日(金)～12日(金)、県産材製材品の表面線量調査を管内の製材工場22社で実施しました。福島第一原子力発電所の事故による放射線の影響について、製材品の表面線量を測定することで県産材の安全性を確認するとともにその結果を広く公表するのが目的です。

今回の測定結果についても専門家から『環境や健康への影響はない』との評価を受けており、安全であることが確認できました。詳しい調査結果については、福島県HPで公表されていますのでご参照ください。

URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/ps-kensanzaityousa.html>



【製材品の表面線量測定】

「天栄米」金賞受賞しました

【須賀川農業普及所】

12月6日（土）、7日（日）に茨城県で開催された「第27回米・食味分析鑑定コンクール国際大会 in つくばみらい」に、天栄村の天栄米栽培研究会からも出品され、見事3名が金賞に輝きました！受賞された方々は、喜びに浸りながらも、すでに今年開催の第28回須賀川^{いわせ}岩瀬大会に向け、「さらにおいしいお米作りに励みたい」と意気込みを語ってくれました。



【金賞を受賞されたみなさん】

お知らせ

第28回米・食味分析鑑定コンクール国際大会 in 須賀川岩瀬

自慢のお米をぜひ出品してみませんか？

- ・開催日時 令和8年12月5、6日
- ・場 所 須賀川市文化センター、円谷幸吉メモリアルアリーナ



須賀川地域指導農業士会・青年農業士会・4Hクラブ 合同研修会が開催されました

【須賀川農業普及所】

12月9日（火）に鏡石町で合同研修会を開催し、指導農業士・青年農業士および関係機関から23名が参加しました。今回は、鏡石町で水稲とハウスきゅうり・露地きゅうりを栽培している今泉美由記さん（R6年度より指導農業士）と同町でりんごと桃を栽培している渡辺定之さん（R7年度より指導農業士）の各ほ場で行われました。

それぞれの農業経営内容の概要や販売などについて説明があり、今泉さんからはいちごからきゅうりに作物を転換した経緯について、渡辺さんは自家製のジュースやりんごの品種ごとの試食を行うなど、地域をけん引する農業者同士交流を深めました



【きゅうりほ場で説明する今泉さん（右から2人目）】



【試食を振る舞う渡辺さん（右）】

里山林整備による獣害対策研修会を開催しました

【森林林業部】

昨今の人里へのクマ出没や人身被害の増大に鑑み、12月17日（水）、林業アカデミーふくしまにおいて、県中管内の市町村、森林組合職員を対象に、里山林整備による獣害対策研修会を開催しました。特定非営利活動法人おーでらすの^{おおつきこうた}大槻晃太氏を講師に、クマの生態や出没を抑制する緩衝帯整備の留意点等について理解を深めました。屋外体験では、クマに見立てた黒いビニールを設置し、クマとの距離感について体感しました。緩衝帯を整備することにより、クマの隠れ場所を無くすとともに、人とクマの距離を確保することが重要であることを学びました。

県中農林事務所からは、里山林整備にかかる各種補助事業について説明しました。参加者からは、「集落では電気柵によるイノシシ対策が主だったが、周辺の里山林整備も含めた一体的な鳥獣被害防止対策について検討していきたい」などの感想がありました。



【大槻氏による講義】



【クマとの距離の体験会】

第6回きゅうり基礎力アップ研修会を開催しました

【須賀川農業普及所】

須賀川農業普及所では栽培経験が浅い生産者を対象に「きゅうり基礎力アップ研修会」を開催しています。12月18日（木）には第6回研修会として反省検討会を開催しました。県中農林事務所職員やJAきゅうりん館担当者による今年度の反省や次年度対策、種苗メーカー担当者による^{りょくひ}緑肥の紹介、^{とくのうか}篤農家（※）も交えたグループワーク等を行いました。参加者からは「グループワークで各生産者と話す機会があると、悩みや課題が共有できるので勉強になった」等多数の好評の声がありました。次年度以降も引き続き、露地きゅうり栽培の早期技術習得に向けて関係機関一丸となって支援していきます！



【篤農家による講演「栽培で苦勞したこと」】



【グループワークの様子】

※ ^{とくのうか}篤農家とは、農業に非常に熱心で、研究熱心、先進的な技術を取り入れ、地域や農業全体の発展に貢献する模範的な農家を指します。

「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」を開催しました

【農業振興普及部】

農業の担い手の確保・育成に向け、郡山市内において、新規就農者が基礎的な知識や技術を習得する研修会「郡山農業塾」を以下のとおり全4回開催しました。



「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」令和7年度開催実績

回数	研修内容	講師
第1回 (5/29)	先輩農業者に学ぶ!編 ・ほ場視察(水稲・きゅうり) ・交流会	・郡山市青年農業士会 会長 安藤 嘉行 氏 ・郡山市園芸ギガ団地組合 副会長 伊藤 正喜 氏
第2回 (12/9)	農業経営編 ・講義「農業経営の基礎」 ・講義「農業の雇用確保と雇用維持のために」	・福島県農業総合センター企画経営部 職員 ・すずき労務経営コンサルタント鈴木大輔氏
第3回 (12/19)	病虫害防除・土づくり編 ・講義「病虫害防除のポイント」 ・講義「土づくりと施肥について」	・福島県農業総合センター生産環境部 職員 2名
第4回 (1/21)	経営計画編(先輩農業者に学ぶ!その2) ・講義「農業の経営計画の立て方」 ・経営計画ワークショップ	・全国指導農業士連絡協議会 顧問 鈴木光一 氏 ・郡山市指導農業士会 会長 小山 忠義 氏 ・郡山市青年農業士会 池上 慎一郎 氏 ・郡山市青年農業士会 池上 瞬 氏

参加した新規就農者等は熱心に受講し、積極的に質問していました。また、受講後のアンケートでは、良く理解できた、また参加したい等の意見を多くいただきました。農業振興普及部では、今後も、新規就農者等の生産や経営面の知識・技術の習得や、相互の人脈作り促進を目的に、「郡山農業塾」を開催してまいります。



【第3回農業塾の様子】



【第4回農業塾ワークショップの様子】

天栄村生産者にみどり認定証が交付されました

【須賀川農業普及所】

令和7年度、天栄村の認定農業者会を中心とした25名の生産者にみどり認定証が交付されました。「みどり認定」とは、環境に配慮した農業に取り組む農業者を県が認定する制度です。

認定を受けると環境に配慮した営農に必要な設備投資への税制優遇や国庫補助事業の優先採択等のメリットがあります。また、令和9年度以降は、環境保全型農業直接支払交付金の受給要件となる予定です。認定を受けるためには、環境負荷低減に取り組む事業計画を作成する必要があります。認定を希望する場合は普及所までご相談ください。



【令和7年12月の認定証交付式の様子】

田村地方農業士協議会の先進地視察研修会が開催されました

【田村農業普及所】

1月15日（木）、農業士5名、元農業士1名の計6名が参加し田村地方農業士の協議会先進地視察研修会が開催されました。今年度は、茨城県の雪印メグミルク株式会社阿見工場、常総市役所とアグリサイエンスバレー常総を訪問し、乳加工製品の製造過程や、6次産業化を軸とした官民一体の町づくりの取組を視察しました。

参加した農業士の方々は、視察先の説明に対して質問や情報共有を積極的に行っており、自身の経営品目と異なる農業の取組に知見を深められた様子でした。



【雪印メグミルク(株)阿見工場視察】



【常総市役所の説明を受ける様子】

令和7年度県中農林事務所管内現地研修会を開催しました

【企画部】

1月16日（金）および1月21日（水）に管内の現状と課題、各部所の業務に関する認識を深め、連携して課題の解決にあたるため、若手職員を中心に現地研修会を開催しました。1回目の1月16日には「有限会社アグリサービスあさか野」、「天栄長ネギ生産組合」にて、共同で農作業を行い併せて地域の農地を守る取り組みを行っている農業者方々のお話を伺い、現地見学などを行うとともに、天栄村の活性化に取り組んでいる「一般社団法人天栄村ふるさと夢学校」「道の駅^{きさと}季の郷天栄」の見学などを行いました。2回目の1月21日には同じ事務所内でも直接事業に関わらないとなかなか知ることのできない「阿武隈川上流遊水池群整備計画地区」「福島県郡山地区木材生産協同組合」「農村地域防災減災事業（琵琶沢池地区^{びわさわいけ}）」の見学を行いました。各所で担当者から説明を聴き、各部所で行っている業務に対して互いに理解を深めることができました。



【長ネギほ場の見学の様子】



【木材生産協同組合の見学の様子】

第2回「岩瀬きゅうり」ならではプランワーキンググループを開催しました 【須賀川農業普及所】

1月22日（木）、JA 夢みなみきゅうりん館で「第2回^{いわせ}岩瀬きゅうりならではプランワーキンググループ」を開催しました。生産者代表、JA、全農、市町村、県等21名が参集し、岩瀬きゅうりの生産振興について今年度実績や次年度の計画及び役割分担について検討しました。今年度は「岩瀬きゅうり」を標記した小袋を作成し、マックスバリュ^{あたみ}ー熱海店（静岡県）等でテストマーケティングを行う等新たな取り組みを行いました。次年度も引き続き産地の生産安定に向けて関係機関が連携して、産地の生産振興を図ってまいります。



【ワーキンググループの様子】



【試作した「岩瀬きゅうり」を標記した小袋】

県中地方フラワーネットワーク研修会を開催しました

【農業振興普及部】

県中地方フラワーネットワークの活動の一環として、1月28日（水）、29日（木）に県中地方フラワーネットワーク研修会を開催しました。

1日目は、長野県の花屋さん「ヌボー生花店」の山崎^{やまざき}代表取締役社長より「花業界の未来を切り拓く取組と産地への提言～花屋の視点から～」のタイトルで講演いただき、ネットワーク会員等24名が参加しました。2日目は、山崎^{やまざき}社長に郡山市のサクラと須賀川市のユキヤナギを見学いただき、枝物の販売方法や需要^{えだもの}について、花屋の視点から貴重なコメントをいただきました。

農業振興普及部では、今後も県中地方産花きの魅力発信、利用促進のため取り組んでいきます。



【講演会の様子】



【現地見学の様子】

県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会を開催しました

【企画部】

1月30日（金）に、県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会を開催しました。

まず、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構 業務第1部グリーン・ツーリズム長 花垣^{はながき}紀之^{のりゆき}氏に「受け手に響く地域の魅力の発信」について具体例を挙げながら講演いただき、参加者は先進地域の活動例について理解を深めました。次に、田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会から事例発表いただき、定期的で開催しているモニターツアー等について学びました。その後、県中管内の各協議会の取組状況の情報共有を行いました。参加者は27名となり、実践的な内容が多く、ぜひ取り組んでみたい、他団体の取組内容を共有することが出来、またそれぞれの地域の課題を聞くことが出来て参考になったとの声が聞かれました。



【花垣氏による講演】



【会場の様子】

頑張る農林業者さん

★ 三春町 有限会社M&Aふぁーむ・わたなべ 代表取締役 わたなべとしふみ 渡辺俊史さん

三春町の渡辺俊史さんを紹介합니다。渡辺さんはしいたけを中心としたきのこ長ネギを栽培されています。

渡辺さんは、しいたけのオリジナル絵本を自ら製作。その絵本としいたけの菌床をセットとした栽培キットを用いて、お手製のしいたけ着ぐるみと白衣をまとい「しいたけ先生」として地域の小学校などで出張講座を行っています。絵本で学びながら菌床栽培を体験する食育活動は、皆さんに喜ばれています。

また、南東北病院が行うしいたけ栽培のアドバイザーとして、障害者の方が栽培を通して自立できるよう支援しています。今後は「病院食への利用や院内販売、さらには全農へ出荷まで目指したい」と目標を話してくれました。



【しいたけ先生こと渡辺俊史さん】

GAP 取得者紹介

★ 郡山市田村町 馬場ファーム田村 ばばかめよし 馬場亀吉さん、りょうこ 良子さん

馬場さん夫妻は、令和4年10月にFGAPを取得され、郡山市内の農産物直売所3か所でネギを販売しています。商品には、「ふくしま。GAPチャレンジ統一マーク」のシールを貼り、他の販売者より消費者から手に取ってもらえる様に工夫されています。馬場さんは、「農業は栽培技術の向上だけでなく『売れることにも大きな喜びを感じる』」と話していました。当所ではGAPの取得や、GAPの認証が消費者から選ばれる農産物の条件となるよう、PR活動等を支援してまいります。



【馬場亀吉さん・良子さんご夫妻】

GAPの種類

- ・ GLOBALG.A.P 国際的に広く適用する第三者認証 GAP
- ・ ASIAGAP 日本発の国際基準認証
- ・ JGAP 日本のデファクトスタンダードの GAP
- ・ FGAP 福島県による公的認証 GAP

新規採用職員紹介 ～1年を振り返って～

農業振興普及部

技師 やしま うめの
八島 梅乃



【トルコギキョウの生育調査の様子】

郡山市の花きの普及業務をしています。分からないことが多く、上司や先輩方に相談してばかりの毎日ですが、少しずつ自分にできることを増やし、郡山市の花きの振興に貢献できるよう、尽力していきます。

須賀川農業普及所

副主査 ねもと まゆみ
根本 真由美



【さいいんげん指導会の様子】

きゅうり・いちご・ネギを中心に野菜を担当しています。職務経験者採用ということですが、生産者に寄り添っていく普及員を目指して、日々現場での技術と知識を積み上げていきたいと思っています。

おいしい6次化商品

かめまん（須賀川市）の「唐パン」^{から}

【企画部】

夢・菓子工房 かめまん^{から}で販売している「唐パン」は、80年以上愛される玄米パンと地元人気店の「割烹阿部の唐揚げ」のコラボ商品で、ニンニク香る甘辛ダレ唐揚げ×もちもち玄米パンで、一度食べたらやみつきになります。「ふくしま満天堂グランプリ 2025（※）」でプレミアム10商品に選ばれました。

販売元：

夢・菓子工房 かめまん

須賀川市西川町 46



【唐パン^{から}】

※ ふくしま満天堂グランプリは、県内の魅力ある6次化商品を広く紹介するため、県が年に1回開催しています。

これから春に向けて山菜の季節になりますが、県中地域産のきのこ及び山菜については、緊急時モニタリング検査の結果、食品衛生法の基準値（100ベクレル/kg）を上回る放射性物質が検出され、国から出荷制限等が指示されていますので、出荷しないでください。

（令和8年3月1日現在）

出荷制限品目	該 当 市 町 村
野生きのこ	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町 ※管内全市町村
こしあぶら	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町 ※管内全市町村
原木しいたけ（露地）	田村市（福島第一原子力発電所から20km圏内の地域に限る）
ぜんまい	郡山市、須賀川市、田村市
うど（野生）	須賀川市
たらめ（野生）	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、古殿町
くさそてつ（こごみ）	郡山市、三春町
たけのこ	郡山市、須賀川市、田村市、天栄村、三春町

※出荷制限品目等については最新の情報を確認してください。

※出荷制限品目等は加工食品の原料にも使用できません。

県では、農林水産物の安全性を確認するため、市場や農産物直売所に出荷される「きのこ」、「山菜類（野生）、わらびの場合は栽培も含む」、「樹実類（あけび、くるみ、とちのみ）」について、事前にモニタリング検査を実施しています。市場等へ出荷する場合は、毎年度、事前にモニタリング検査を受けて安全性を確認する必要がありますので、未検査のものを出荷することがないようにお願いします。モニタリング検査には期間を要しますので、発生初期にご相談ください。

相談窓口：県中農林事務所 森林林業部 林業課 電話 024-935-1367

令和7年度再生回数 堂々の第1位！



シリーズ再生1万回超え！
チャンネル内全ての動画の中でも
再生回数トップ11位入り！

公開日：2025年1月31日

再生回数：6,215回

いいね数：21

県中農林事務所で作成した動画90本のうち、令和7年度に一番再生回数が多かったのは【「そば打ちの奥義」全て見せます。その1「こねる」編】でした。(R8.3.24時点)

こちらの動画は年間100kg以上のそば粉を打つ、そば打ち歴30年以上の農家さんが、そば打ちの奥義を惜しみなく披露する動画で、「こねる編」「延ばす編」「打つ・切る編」「茹でる編」の4本立てです。制作は、須賀川農業普及所の橋本所長です。

所内でも「見事な職人技は無心ですっと見ていただける！」「年越しそばの茹で方をこの動画で勉強しました！」とファンの多い動画です。



他にも沢山の魅力的なコンテンツがありますので、ぜひ「1400 のネタばらし」をご覧ください！

福島県農林水産部公式 YouTube 「1400 のネタばらし」はこちらから→

<https://www.youtube.com/channel/UCqP88JOqCub5659DrE fz2sw>

